

医療の安全に関する研究会

第9回研究大会

テーマ 「これでいいのか、今の医療」

～施設から在宅へ、医療の安全を見据えて～

介護保険制度が始動して4年が過ぎ、在宅ケアが拡大する中で、さまざまな問題が見え隠れしている。それらの状況を、医療の質と安全の面から、改めて客観的に見据えようというのが今大会である。在宅関連従事者の対応、制度の実情等々について、医療の質と安全の切り口で共に考え、提言していこう。

日 時 2004年12月4日(土) 10:00~16:30

場 所 野口英世記念会館(東京都新宿区大京町26番地 03(3357)0742)

参加費 一般2000円 学生1000円

郵便振替(口座番号:00870-7-104540 名義:医療の安全に関する研究会)にて、事前に参加費をお払い下さい。追って「参加証」をお送り致します。当日参加も可能です。

《プログラム》

9:30~

受付

10:00~10:10 開会の挨拶 島田康弘理事長(名古屋大学大学院医学研究科)

10:10~10:35 大会長講演 「安全を生み出すもの～アクション・スタントマンからの学び」
スターの黒子役、アクションスタントマンの隠れ技と医療ミスを対比させると?
村松静子(在宅看護研究センター)
司会 細井恵子(在宅看護研究センターひだ)

10:35~11:35 特別講演 「遷延性意識障害からの目覚め、看護実践に潜む安全の礎」
障害によって深い眠りに入った、その人の意識を呼び起こすに不可欠な看護の技と
心。回復へ向けた長期の闘いを乗り越えるのに必要なことは?
紙屋克子(筑波大学大学院人間総合科学研究科=看護科学系)
司会 村松静子(在宅看護研究センター)

11:35~12:10 医療の安全に関する川柳募集～薬剤編 優秀作品の紹介・表彰
4000通もの応募の中から選評される。
選 者 : 大木俊秀(NHK学園)

(休憩)

13:10~14:55 実情報告と特別発言 「施設から在宅へ、今抱える問題を打破するために」
病院の入院短縮、在宅の高度医療化、それらの実情報告を受け、さらに、自ら体験
した交通事故・親の介護を交えて問題をとらえ、今の心情や考えを訴える。

実情報告 町屋千鶴子(東京女子医大第二病院 在宅看護エキスパートナース)
鈴木紀子(日本在宅看護システム有限会社)

特別発言 萩生田千津子(車椅子の女優)
司会 斎藤悦子(共立女子短期大学看護学科)

14:55~16:25 全体討論会 今日のテーマ「これでいいのか、今の医療」を語る
～施設から在宅へ、医療の安全を見据えて～
司会 斎藤悦子(共立女子短期大学看護学科)
増田聖子(弁護士 増田法律事務所)
篠崎良勝(株式会社ヘルスケア総合政策研究所)

16:25~16:35 次期大会長挨拶 加藤良夫(弁護士 南山大学法学部)

16:35~16:40 閉会の挨拶 大会長 村松静子